

令和3年度事務事業評価表

事務事業名	小地域福祉活動推進事業			担当課	小地域福祉活動推進課	事業種別	自主
				担当係	小地域福祉活動推進係		
開始年度	平成20年度	計画体系	1 地域で支えあい、つながるしくみをつくります ⇒ (1)小地域福祉活動の推進				
根拠法令等	小地域福祉活動推進事業実施要綱						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	地域福祉事業	サービス	地域福祉事業	
事務事業目的	身近な地域で「ふれあい・支えあい・たすけあう」活動の仕組みをつくり、区民が中心となって、地域の困りごとや心配ごとなどの解決に向けた方法や活動を考え実践することで、「福祉」をキーワードにした地域づくりをめざす。						
実施内容	<p>【概要】 区内19の地区で取り組んでいる「小地域福祉活動(気軽に行き来ができる隣近所を舞台に、住民同士が理解しあい、支えあう力を強めていく活動)」に対し必要な支援を行い、人と人、人と地域がつながる仕組みづくりを進める。</p> <p>【活動単位】 地区連合町会・地区民児協の単位で推進組織を設置</p> <p>【支援体制】 平成22年度に小地域福祉活動担当課(現小地域福祉活動推進課)を設置。地区担当制を導入(兼務配置)し、更に令和元年度には区域担当制も導入。全職員が積極的に地域にかかわりながら小地域福祉活動の推進・支援にあたっている。</p> <p>【交流会等】 ・情報交換会の開催 それぞれの地区が抱える問題や課題などを共有し、今後の活動に活かしていくことを目的に、区内全域、あるいは一定の区域(ブロック)を単位に情報交換会を開催する。 ・活動の担い手の拡大・育成 各地区の推進委員会等と連携しながら、地区での実践活動を通じて新たな担い手の発掘、育成を図る。 ・情報紙の発行 運営スタッフ向けに情報紙「しょうちいきつうしん」を発行し、各地区の取り組みや福祉に関する情報等を発信する。</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	H31	R2
成果	実施地区数	—	カ所	目標	19	19	19
				実績	19	19	19
活動	情報交換会	—	回	目標	1	1	1
				実績	1	1	0
活動	担い手の拡大・育成	—	人	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
活動	情報紙の発行	—	回	目標	4	4	4
				実績	4	4	4
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)		H30	H31	R2
収入	特定財源			
	一般財源 (a)	25,033,709	23,297,562	21,031,752
支出	事業費 (b)	4,658,709	3,880,062	1,614,252
	職員人件費 (c)	20,375,000	19,417,500	19,417,500
	業務量(人)	2.50	2.50	2.50
	間接費 (d)	0	0	0
	調整額 (e)	0	0	0
	退職給与引当	0	0	0
		0	0	0
	(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	25,033,709	23,297,562	21,031,752	

単位当たりコスト(円)	H30	H31	R2
単位の定義	取り組み地区数(カ所)		
実績数値 (g)	19	19	19
単位あたり社協単コスト (a/g)	1,317,564	1,226,187	1,106,934
単位あたりコスト (f/g)	1,317,564	1,226,187	1,106,934

実施状況に対する評価	<p>区内全19地区で推進組織が設置され、各地区の実情に応じた様々な取り組みが展開されている。活動を展開する場づくり・組織づくりを支援しながら、地区相互の情報交換・交流の場、学びの場となる情報交換会等を開催している。</p> <p>平成30年度から発行を開始した「しょうちいきつうしん」は、他地区の状況や活動がわかるようになったとの声もあり、概ね好評である。</p> <p>地域では、小地域福祉活動の取り組みを通して、少しずつではあるが「顔の見える関係」、「あいさつのできる関係」が構築されてきていたが、コロナウィルスの影響により地区によってはつながる関係づくりは停滞している。</p>
今後の方向性【改善】	<p>あらゆる媒体を活用しながら、小地域福祉活動の有効性をPRしていく。</p> <p>コロナウィルス収束後の活動再開に向け、必要な情報提供・アドバイスを行うとともに、各地区の活動の継続・充実が図られるよう、支援方法の検証・検討を行っていく。</p> <p>また、各地区の推進委員会をはじめ、区内の社会福祉法人や福祉サービス事業所、NPO、ボランティア等、地域の多様な主体が情報交換・情報共有できる場を設定するなど、地域の特性に応じた支えあいの仕組みづくり(ネットワーク)を構築していく。</p>